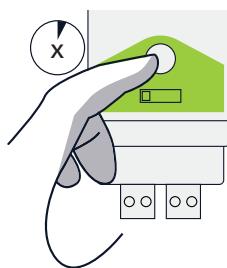


# ご利用方法



## ボタン操作の種類について

この説明書の中で表示するP1からP15の表示は下記のボタン操作の種類を示しています

**P1** = ボタンを 1s 押す（1回押し）

**P5** = ボタンを 5-10s 長押し

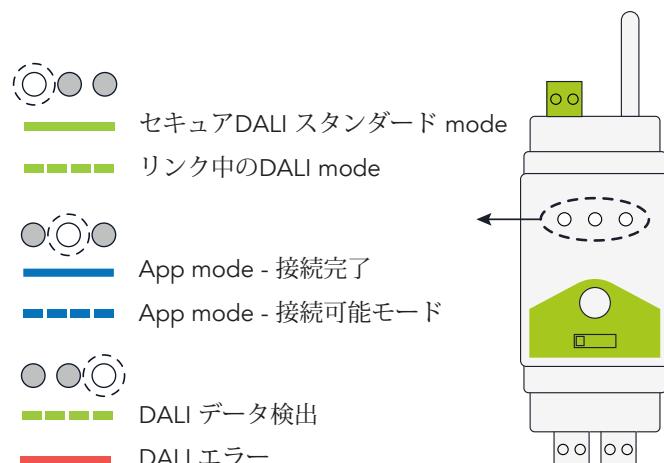
**P10** = ボタンを10-15s長押し

**P15** = ボタンを 15s 長押し

## デフォルトモード

以下は、セキュアDALI標準モード（デフォルトモード 送信）で動作しているときのDINレールユニットのLEDインジケーターについて説明しています。

DINレールユニットをレシーバーモードに設定するか、特殊モード（白または黄）に切り替えるには、6ページに記載されている手順に従ってください。



## SUBNETS

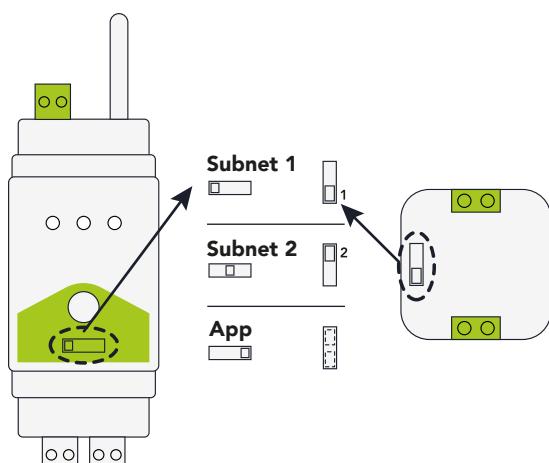
アプリを使用してシステムを設定する場合、W-DALIノードのサブネットスイッチは任意の位置に設定できます。

サブネット設定は、アプリを使用した設定中の構成や動作には影響しません。詳細は2ページをご覧ください。

アプリを使用しない設定の場合、W-DALIデバイスのサブネット（サブネット1とサブネット2）を使用してメッシュネットワークを構築します。

リンク時には、W-DALIノードは同じサブネットのDINレールに接続します。

詳細は3ページをご覧ください。



## W-DALI APPを使用した設定

W-DALI アプリを使用して、リンク、リンク解除、ファームウェアのアップグレードなどの操作を行うことができます。

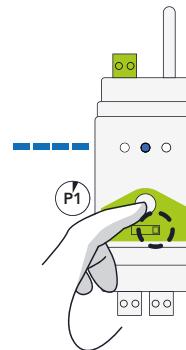
**W-DALI アプリを使用するには、次の手順に従います。**

### 1. デフォルトモード側（送信）

APPを起動し、スキャンモードにします。

APPがスキャンしている間に送信機のフロント面のボタンを1回押すと、APPはデバイスを検出します。

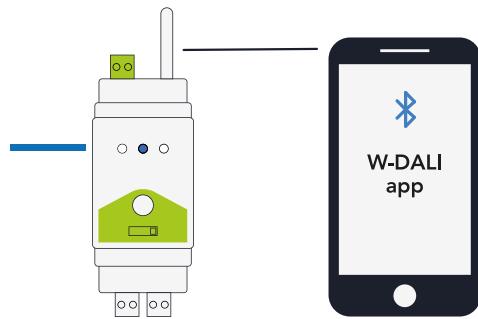
一度、APPと接続した後、1分後には、自動的に接続が解除されます



### 2. Appとの接続状態

APPと接続した状態では、センターのStatusLEDがブルーで点灯します。APPにはファームウェアアップデートや受信機をサーチするメニューが表示されます。

ボタンを再度押すと、接続が解除されます

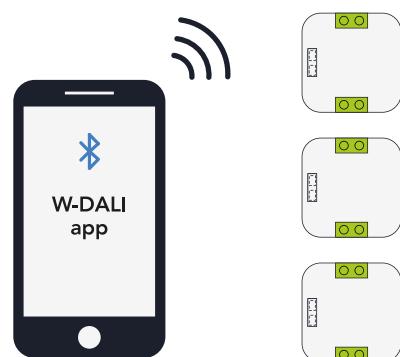


### 3. 受信ノードの追加

Bluetoothの範囲内にあるW-DALIノード（受信機）が検出されます。addを押してネットワークに追加します。

W-DALIノードのサブネットは任意の位置にセットされた状態で問題ありません。

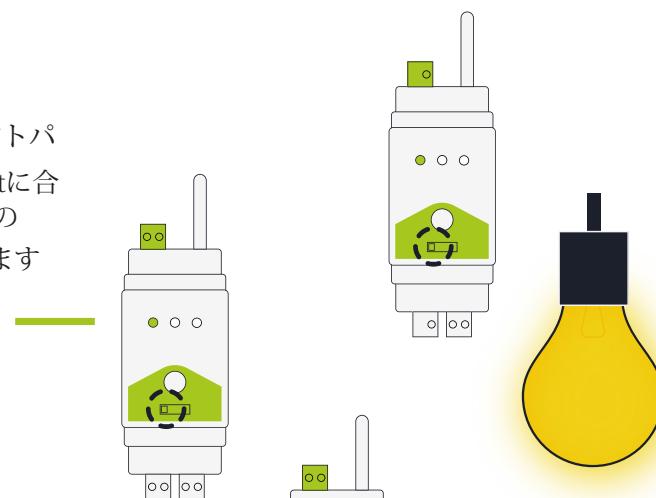
APPを使って、検出されたノード（受信機）を追加すると、送信機をルートとするメッシュネットワークに接続され、受信機はStatusランプがシアン色で点灯します。すべての受信機をネットワークに追加したら、送信機のボタンを1回押すことで、通信はセキュアモードに変わり、設定は完了します



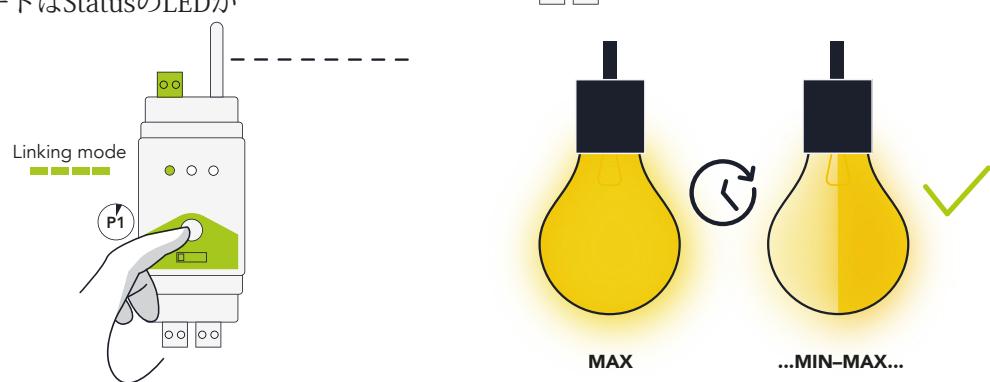
## W-DALI リンク設定 (APPを使用しない方法)

W-DALI ノード（受信機）をシステムに手動でリンクするには、次の手順に従います。

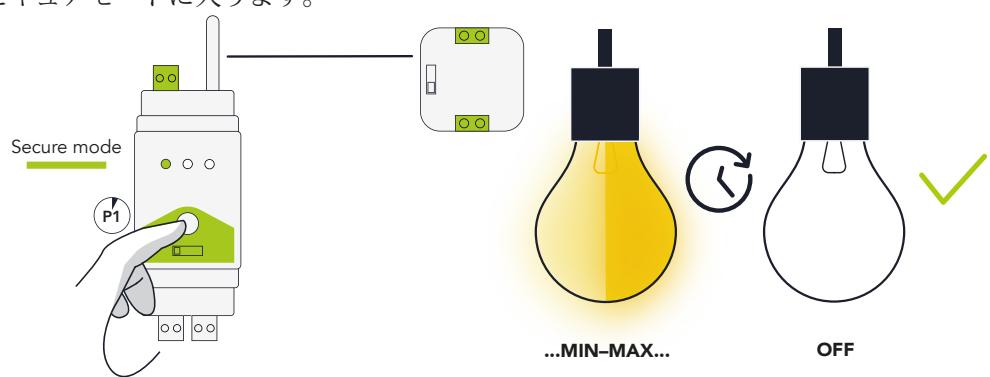
1. W-DALI DIN rail の送信と受信側の両方で、フロントパネルにある3モードの切り替えを使い、同じSubnetに合わせますSubnetを切り替えることで、異なる2つのネットワークを同じ空間でリンクすることができます



2. 送信側のユニットのボタンを一回押します。W-DALI DINレールから5秒以内にリンク信号を受信し、W-DALIノードは、MIN～MAXの強度で照明器具にパルス状のフェードを開始します。すべてのW-DALIノードがシステムに参加するまでお待ちください。ネットワークに接続されたノードはStatusのLEDがシアンで点灯します



3. すべてのノードが接続されたら、W-DALI DIN（送信機）のボタンをもう一度押してリンクプロセスを停止し、セキュアモードに入ります。すべてのW-DALIノードがシステムに接続するまでお待ちください。ボタンを押さない場合、W-DALI DINレールと接続されたノードは1時間後に自動的にセキュアモードになります。

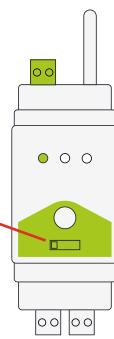


## アンリンクの手順

- リンクを解除したいノード（受信機）の電源をオフにします。



- フロントパネルにあるスイッチポジションを異なるポジションに切り替えます

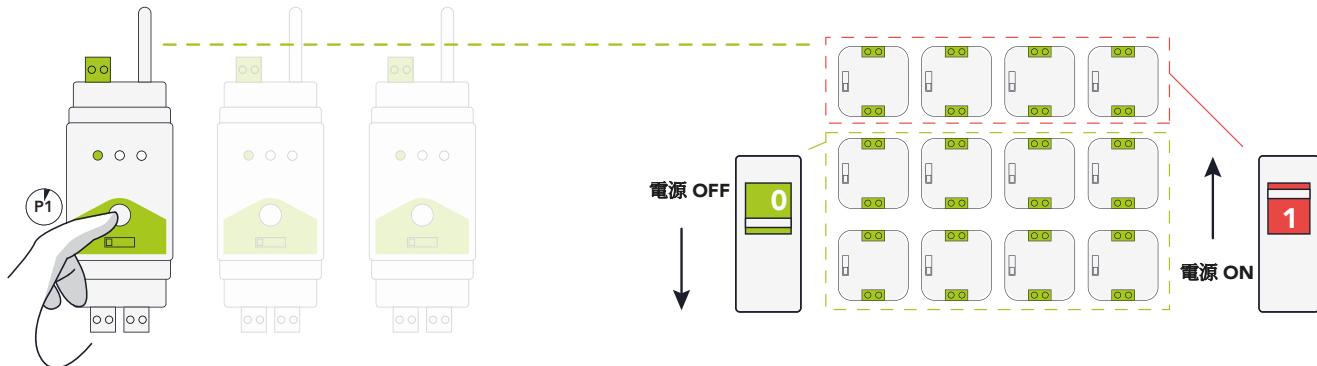


- 電源を再投入すると、リンクが解除されます。

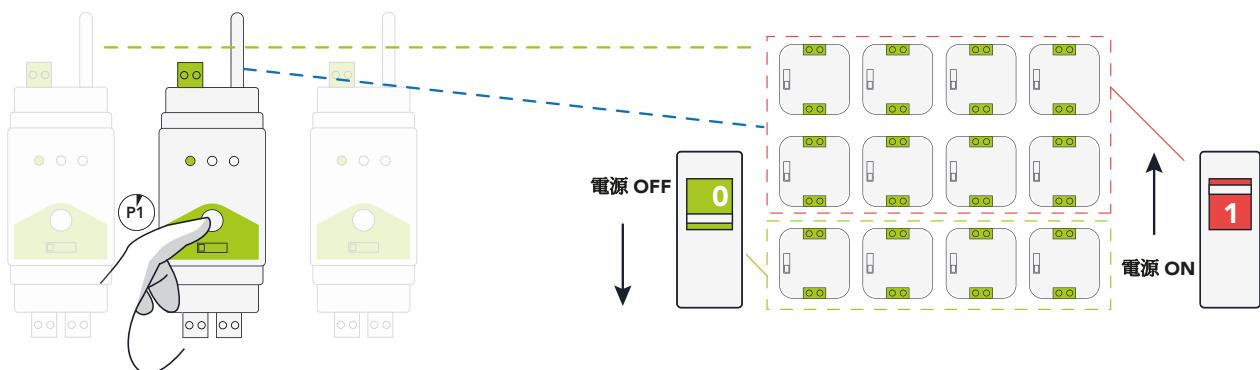


**2つ以上のサブネットを持つシステムで W-DALI ノードを手動でリンクする別の方法:**

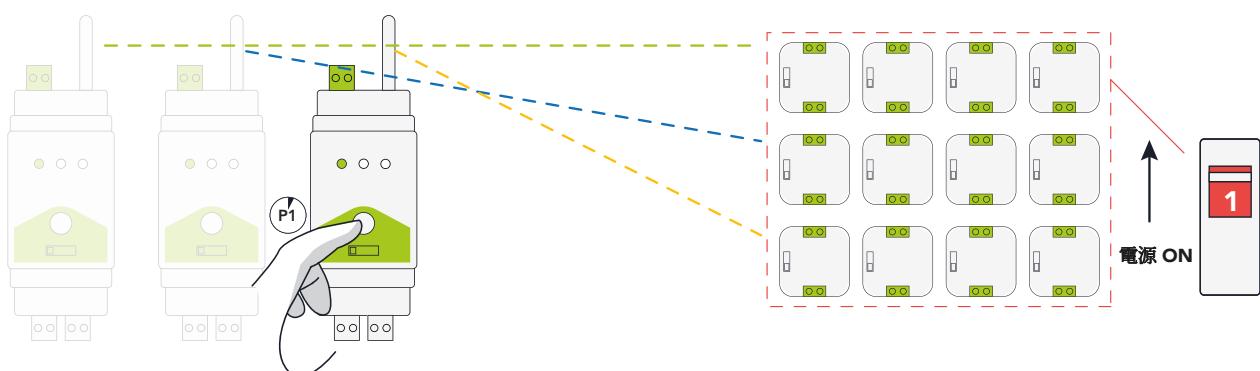
1. リンクしたくないW-DALI ノード（受信機）の電源を外します。
2. W-DALI DIN（送信機）で、フロントパネルのボタンを1回押します



3. すべてのノード（受信機）がリンクするのを待ちます
4. すべてのノードがネットワークに参加したら、送信機のボタンを押してセキュアモードを確率します。一度リンク完了したノードは電源をオフにする必要はなく、2台目の送信機に接続したいノードの電源をオンにして、2台目の送信機のボタンを押します



5. 次のグループのノードの電源を入れて、3台目の送信機のボタンを押してリンク作業を行います。

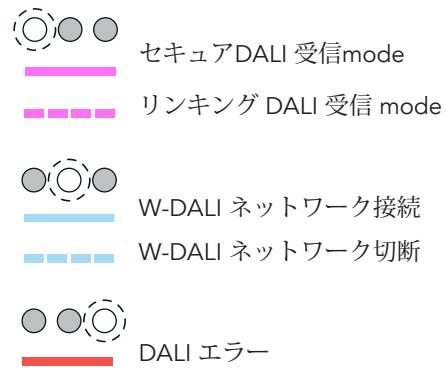


6. 上記の手順を繰り返すことで、複数のネットワークを同時に設定することができます。

## DIN RAIL モード切り替え

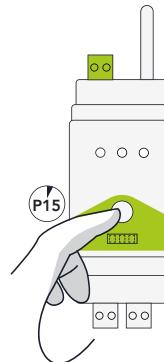
### DIN rail レシーバーモード

DINレールユニットをレシーバーモードに変更すると、システム内でメッシュノードとして機能するようになります。

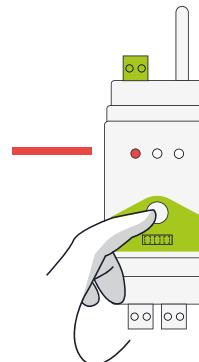


### レシーバーモードへの切り替え

1. フロントパネルのボタンを15秒長押しします。 (P15)

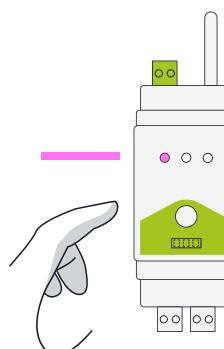


2. モードLEDが赤に変わりますが、そのまま押し続けます  
モードLEDが赤からマゼンタに変わったら、ボタンを離します



3. LEDが MAGENTAに点灯したら設定完了です

デフォルトモードに戻すには、ユニットを工場出荷時設定にリセットしてください。詳細は8ページをご覧ください。



## DIN Rail Yellow & White モード

**Yellow モード:** デフォルト モードと同じように機能しますが、DALI RESET コマンド送信が許可されます。

**White モード:** DALI クエリやイベントを使用しない基本的な照明制御設定に適した DALI フォワード モードを有効にします。



セキュア DALI スタンダード モード  
(Reset コマンドがブロックされません)



DALI スタンダード mode リンク



Secure DALI フォワードモード



Linking DALI フォワードモード



App mode - 接続



App mode - 接続可能



DALIデータ検出



DALIデータ検出

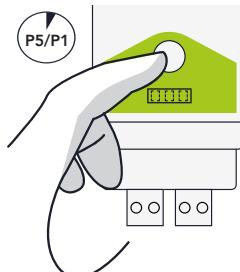


DALI エラー

デフォルト（緑）から黄色、白のモードへ切り替えるには

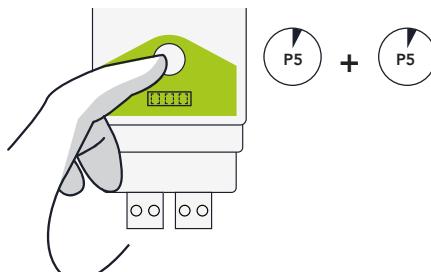
### 1. 黄色モードの場合

フロントパネルのボタンを5~10秒の間、押し続けてから一度離し、一度だけボタンを押すと黄色のモードになります。



### 2. 白モードの場合

フロントパネルのボタンを5~10秒の間、押し続けて一旦、離してから、再度、5~10秒押し続けるとモードLEDが白に変わります



### Green/Yellow ↔ White

● ● ○ / ○ ● ○ ↔ ○ ○ ○ : P5+P5

### Green ↔ Yellow

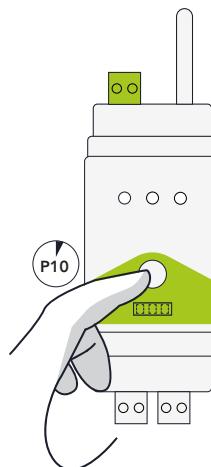
● ● ○ ↔ ○ ● ○ : P5+P1

## ファクトリーリセット

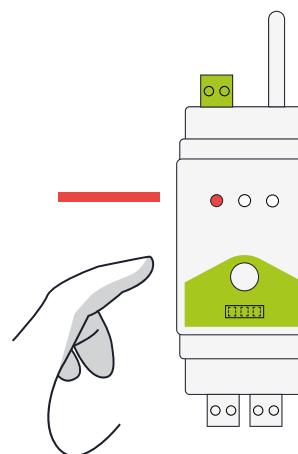
工場出荷時設定にリセットすると、すべてのユーザー設定が消去され、W-DALI DIN レールが元の状態に戻ります。

### ファクトリーリセットの手順

1. フロントパネルのボタンを長押しします  
10-15s (P10).



2. モードLEDが赤に点灯したら、ボタンを離します。



3. リブートするのをお待ちください

